

名古屋市教育委員会 様

名古屋市立梅森坂幼稚園長

令和6年度 学校評価報告書

学校教育の努力点（主題）	特に大切にしたい要素					
	I	II	III	IV	V	VI
“なぜ？やってみたい！こうしてみよう！”と心を動かし 遊びを楽しむ幼児の育成			○	○		○

1 実践のねらい

幼児一人一人の思いや個性を大切にしながら育ちを捉え、幼児が自ら意欲的に遊びを楽しむことができる教師の援助や環境の構成のあり方を考える。

2 実践のねらいに迫るための手だて

- ・ 幼児が探究心をもって遊んでいる姿を捉え、教師の援助や環境の構成を考え実践する。
- ・ 実践を記録や写真などに留めることで、より具体的に評価反省し次の実践につなげる。

3 実践の内容

- ・ 幼児が心を動かしたことを教師が丁寧に読み取り、幼児の考えが実現できるよう支えると、試したり、工夫したりして主体的に遊ぶ姿につながった。
- ・ 園庭や保育室にある物に加え、幼児が風などの目に見えない自然に関心をもてるよう環境の構成を意識した。風の動きやその強弱・向きなどを感じ取り、言葉や動きで表したり遊びに取り入れたりする姿につながった。

4 成果と課題

- ・ 幼児が心を動かす出来事が生まれるようにと、意図性を重視するあまり、教師の思いを優先し過ぎてしまわないよう柔軟に対応する必要があった。
- ・ 保護者アンケートでは、幼児の興味関心、思いを大切にした教育をしているという項目でおおむね高い評価を得た。学校評議員には幼児の主体性や探究心を育もうとしている園の保育内容について理解を得た。

5 来年度に向けて

“やってみたい”“こうしてみよう”という姿は捉えやすく、その思いを実現できるよう支えることができた。“なぜ”という幼児なりの問いを捉え、それをどう支えていくとよいかについて課題が残った。“なぜ”を幼児と共に明らかにできる手立てを考えたい。